

若草山 342m

今年の同窓会の山行行事で若草山に登りました。麓には奈良公園や東大寺があり観光客にも人気がある。標高 342m、山頂からは奈良平野、京都平野まで見渡せる。最近では外国人も増えた。観光客減少から提案された4年前のモノレール計画の懸念は取り敢えずなくなった。観光客で活性化とは…………。

山頂で昼食を取っているとシカがやってきて奪おうとする。最初は大人しいと思って軽く否していたが、当のシカは思った以上に狂暴であった。何としてでも奪おうとする。

こんなシカもいるのだと印象が強かったせいか、何でシカなのか調べてみたところ、次のような記事がウィキペディアに載っていた。

『若草山は芝に覆われている。この芝はノシバ（日本芝の一種）と呼ばれる日本固有のシバで、近畿では若草山付近が唯一の自生地とされる。ノシバの種は堅い殻に覆われており、シカがシバの葉と共に種を食べても、シカの歯と胃液による消化などから堅い殻が種を守る。ただ守るだけでなく、シカの胃に入ると、胃液と体温（40 度程度）で殻は速やかに溶けて発芽できる状態になり、未消化の種は糞とともに山に散布されることにより、ノシバは発芽する。このサイクルを繰り返し、古来よりこの地で生息してきた。このため、若草山のシバの生育には自然状態ではシカの存在が不可欠である。』

若草山の山焼きも有名である。次回は山焼きや夜景を楽しむことにしよう。





「抹茶ぜんざい」が美味しかった。